

講義コード	21H0122101	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名	吉田 国光		開講期	2 期
科目名	風土と人間生活									
履修前提条件										
授業の目的	風土とは気候や地形、地質、植生など自然環境の総体である。人間生活は風土への適応の結果ともいえ、人間生活の“度を超えた”風土へ介入の結果が今日の「環境問題」を引き起こしている。そして「環境問題」は温暖化、大気汚染だけではなく、身の回りの自然環境でもみられる。とくに本講義では、身の回りの自然環境で起こる様々な問題を取り上げ、問題が起こる背景や仕組み、読み解く視点について概説することを目的とする。									
到達目標	環境問題対策 大気成分などの測定なのか？計るだけで、誰かが引き起こした環境問題は改善されるのか？「大きい」ものも「小さい」ものも、互いに独立しておらず、それぞれが複雑な因果関係のなかで生じている。この因果関係を読み解く視点として地理学独自のマルティスケールに捉える方法を習得する。									
授業外学修内容・授業外学修時間数	適宜、予告しますので、該当章を読んでおくことが望ましい。また各回の題材となった文献は授業後に読んで理解を深めること。さらなる学修としては、とくに興味のある回で紹介された文献に記載された参考文献リストから、さらに興味のある文献を数珠つなぎ的に読み継いでいくことで、興行きを深められる。この科目では60時間以上の授業外学修を行うこと。									
授業計画	第1部 身近な環境への地理学的なアプローチ 【第1回】ガイダンス 【第2回】人間からとらえる自然 - 関係性の地理学から環境史へ - (1) 【第3回】人間からとらえる自然 - 関係性の地理学から環境史へ - (2) 第2部 環境史と居住史 【第4回】グレートジャーニーの行方 - 低地居住の過去・現在・未来 - (1) 【第5回】グレートジャーニーの行方 - 低地居住の過去・現在・未来 - (2) 【第6回】低地への適応 - 洪水を利用するベンガル・デルタ - 【第7回】住まいを探す方法 【第8回】砂漠に住まう - カラハリ狩猟採集民の居住地選択と決定 - 第3部 人為的改変 【第9回】愛知川の氾濫と安土城築城期の湖沼環境 【第10回】動き続ける大地の利用と対峙 【第11回】焼畑と山地植生 (1) 【第12回】焼畑と山地植生 (2) 【第13回】世界遺産の保全と商業利用 (1) 【第14回】世界遺産の保全と商業利用 (2) 【第15回】まとめ									
成績評価の方法	・ 3分の2以上の出席を必要とする。 ・ 30分以上の遅刻は出席と認めない。 ・ 学期末試験100%を基本とし、その他講義への参加姿勢などを加味して総合的に評価します。 シビアに評価しますので、真剣に取り組んでください。									
フィードバックの内容	リアクションペーパーなどへのコメントなど									
授業実施形態について	対面授業									
教科書										
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN			
指定図書										
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN			
参考書										
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN			
『自然と人間の環境史』	宮本真二・野中健一編		海青社		2014		9784860999209			
教員からのお知らせ	参考書の購入は必須ではないが、とくに興味を惹きつけられた学生は手元に置いておく方が学修効果は高い。									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部・学科で定めるオフィスアワーにて対応します。学部・学科のHPおよびポータルサイトにてお知らせします。									
アクティブ・ラーニングの内容	講義内で適宜、受講生に向けて問いかけるので、リアクションしてほしい。その他、リアクションペーパーのフィードバックなど。									
その他										